

統合神経科学講座

Integrative Neuroscience

教授	田村 了以	Ryoi Tamura
助教	杉森 道也	Michiya Sugimori
助教	上野 照子	Teruko Uwano

◆ 著書

- 1) 田村了以. 標準生理学. 第8版. 小澤静司, 福田康一郎監修. 本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐 正編集. 東京: 医学書院; 2014. 第6編 自律機能と本能行動. 第22章 本能的欲求に基づく動機づけ行動; p.411-27.
- 2) 筒井健一郎, 田村了以. 誠信 心理学辞典. 新版. 下山晴彦編集代表. 東京: 誠信書房; 2014. 第14章 生理, 11 学習; p. 488-90.
- 3) 田村了以. 誠信 心理学辞典. 新版. 下山晴彦編集代表. 東京: 誠信書房; 2014. 第14章 生理, 12 記憶; p. 490-3.

◆ 原著

- 1) Nakata R, Eifuku S, Tamura R. Effects of tilted orientations and face-like configurations on visual search asymmetry in macaques. *Animal Cognition*. 2014 Jan; 17: 67-76.
- 2) 上野照子, トラン H アン, 田村了以, 小野武年, 西条寿夫. ラット脳機能発達に及ぼす胎生期反復寒冷ストレスの影響. 富山大学医学会誌. 2013 Dec ; 24 : 18-23. (2013 年未掲載分)

◆ 学会報告

- 1) Sugimori M. Perturbation of glioma selfrenewal via disruption of power law in clonal growth by PI3K inhibitor. ISSCR (International Society for Stem Cell Research) 12th Annual Meeting; 2014 Jun 18-21; Vancouver.
- 2) Mihara M, Kakeue K, Fujita K, Tamura R, Hayashi A. Monitoring the velocity of saccades by using an eye tracking device. The 12th Meeting of the International Strabismological Association (ISA); 2014 Dec 1-4; Kyoto.
- 3) 田村了以, 西田 悠, 永福智志. サル海馬の電場電位と睡眠ステージ. 第23回「海馬と高次脳機能」学会; 2014 Oct 11-12; 金沢.
- 4) 田村了以, 西田 悠, 永福智志. サル海馬脳波の睡眠による変化. 第61回中部日本生理学会; 2014 Nov 7-8; 名古屋.
- 5) 藤田和也, 三原美晴, 田村了以, 掛上 謙, 林 篤志. 健常者と外転神経麻痺患者の衝動性眼球運動速度の比較. 第70回日本弱視斜視学会総会 第39回日本小児眼科学会総会; 2014 Nov 29-Dec 1; 京都.
- 6) 掛上 謙, 三原美晴, 田村了以, 藤田和也, 追分俊彦, 中川拓也, 林 颯代, 奥村詠里香, 林由美子. 視線追跡装置による衝動性眼球運動速度の計測第. 55回日本視能矯正学会; 2014 Nov 29; 京都.

◆ その他

- 1) 杉森道也. D-serine と NMDA 受容体を介した海馬神経前駆細胞の分化制御. 国立精神神経センター研究開発費精神疾患関連研究 気分障害班(24-2)気分障害の病態解明と診断治療法の開発に関する研究班会議; 2014 Nov 13; 東京.
- 2) 杉森道也. 海馬における時期特異的グリア文化. 第19回グリア研究会; 2014 Dec 6; 東京.